



若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

発行 令和3年5月27日
横浜市立若葉台中学校
学校だより 1号
校長 高良 理
副校長 石平 正典



よろしく申し上げます

校長 高良 理

新年度が始まりました。4月1日に若葉台中学校に着任しました高良理(こうら おさむ)です。前任は青葉区のすすき野中学校でした。校長職5年目となります。よろしく申し上げます。年度当初にあたり、子どもたちに次のように話しました。

(2・3年生が参加した始業式にて)

2年生は1年前に入学した時の不安と期待の気持ちを思い出し、優しい気持ちで新1年生を迎えて欲しいです。3年生は最高学年として、そして中学校生活最終年としてしっかりと学校生活を送って欲しいです。

先日水泳の池江璃花子選手は今年の東京オリンピックの参加標準記録を突破して出場権を獲得した時「努力は報われるのだと思った」と話されました。皆さんもどんな小さなことでもよいので努力を続けてください。必ず報われる時が来ます。

(入学式にて)

今日から若葉台中学校の1年生です。勉強も教科ごとに先生が替わります。一斉給食ではなく、中学校給食や家庭から持参する弁当等となります。部活動も本格化します。先生方や先輩のことをよく聞いて一日も早く若葉台中学校に慣れてください。

また、学校は「間違えても良い場所」です。間違えることは恥ずかしいことはありません。間違いを教えてもらってそれに気づくからこそ成長できます。自分なりに一所懸命考えたことは積極的に発言して皆に聞いてもらいましょう。

今年度もご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

令和3年度 特別支援教育について

特別支援教育とは、「生徒一人一人の学習状況や教育的ニーズを把握して、その持てる力を高めて、個々の子どもの生きる力を育む教育」です。生活上や学習上の困難を改善または克服するために適切な支援を行っていきます。どのような支援を行っていくかについては、それぞれの生徒、保護者のニーズが違いますので、保護者の皆様や生徒からの要請があれば、いつでも必要な支援内容を伺い支援内容を考えてまいります。学級担任等を通じてご相談、ご連絡いただきたいと思います

特別支援コーディネーター 村木 泰徳

令和3年度 職員紹介



	1学年	2学年	3学年
主任	戎 玲子	松本 庸之	脇田 伸一
1組	栗川 真悟	土屋 奈々	新路 (しんみち) 祐貴
2組	谷知 桃子	青田 卓也	高橋 典子
3組	加山 謙介		長屋 杏由
4・5組	村木 泰徳 齊藤 理美子		
副担	横溝 義和	浦川 孝広	木村 匡宏
副担		中嶋 実香	細野 令子

- 【進路指導主任】 木村 匡宏
- 【生徒指導専任教諭】 松本 庸之
- 【養護教諭】 大河内 美幸
- 【事務職員】 奥村 優斗
- 【技能職員】 清水 喜浩、市川 久美子
- 【学校司書】 野々内 里子
- 【カウンセラー】 堀 明子
- 【AET】 ジャック・フェスチャック
- 【職員室アシスタント】 福井 寿
- 【教育支援員】 松下 佐智子




令和3年度 部活動

今年度5月18日現在の部員数と顧問を掲載しました。

野球部
 顧問 松本 庸之 齊藤 理美子
 清水 喜浩

1年 男子 1名 女子 0名
 2年 男子 3名 女子 0名
 3年 男子 5名 女子 0名



卓球部
 顧問 加山 謙介 木村 匡宏
 土屋 奈々

1年 男子 9名 女子 3名
 2年 男子 4名 女子 0名
 3年 男子 10名 女子 6名

バスケット部
 顧問 青田 卓也 長屋 杏由


1年 男子 4名 女子 7名
 2年 男子 8名 女子 2名
 3年 男子 0名 女子 4名

女子ソフトテニス部
 顧問 浦川 孝広 中嶋 実香
 細野 令子 市川 久美子

1年 男子 0名 女子 8名
 2年 男子 0名 女子 6名
 3年 男子 0名 女子 9名

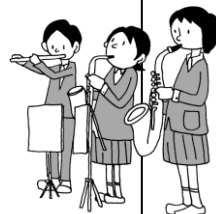
剣道部
 顧問 脇田 伸一 村木 泰徳

1年 男子 0名 女子 0名
 2年 男子 1名 女子 2名
 3年 男子 3名 女子 4名



吹奏楽部
 顧問 戎 玲子 横溝 義和
 奥村 優斗

1年 男子 0名 女子 5名
 2年 男子 2名 女子 6名
 3年 男子 1名 女子 14名



バドミントン部
 顧問 新路 祐貴 高橋 典子
 栗川 真悟

1年 男子 11名 女子 11名
 2年 男子 6名 女子 6名
 3年 男子 11名 女子 0名

自然科学部
 顧問 谷知 桃子 大河内 美幸

1年 男子 8名 女子 3名
 2年 男子 7名 女子 3名
 3年 男子 3名 女子 0名

横浜市立若葉台中学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

- ◎子ども一人ひとりを大切に、学びを通して自立をめざします。
- 子どもが「わかる、できる」を実感し、「考える」授業を通して、思考力、判断力、表現力等の「学ぶ力」を育成します。
- 人も自分も大切にできる人権尊重教育を推進し、相手の立場に立って考えられる「思いやり」の気持ちと共生、協働の態度を育成します。
- 自治意識、自治能力を育てる主体的な生徒会活動を推進し、課題解決を図ろうとする力を育成します。
- 多様な人と関わり、充実した体験活動や実践の中で、自己肯定感や自己有用感を醸成します。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

(重点取組分野)	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒が自ら問いを見いだし解決していく授業を通し、日常や社会の中で生きて働く力を育てる。 ② 放課後学習会や夏季学習会などを活用し、基礎・基本の定着を図る。 ③ 校内や小中合同での授業研究会を通し、全ての教員が授業改善に取り組み、生徒の資質・能力の育成を目指す。
生きてはたらく知	

2 教科学習の状況

- 国語科：話す・聞く力や知識・理解・技能は身につけている。一方、読む力・文章を書く力・活用する力に課題がある。
- 社会科：知識の定着は見られるが、記述や資料の読み取りに課題がある。
- 数学科：基礎的な知識や技能についてはある程度定着が見られるが、数学的な考え方に課題がある。
- 理 科：自然事象についての知識・理解はあるものの、科学的な思考力が不足している。
- 外国語科：易しい英語を聞き取る力はある程度身につけている。言語に関する知識の定着、家庭学習に課題がある。

3 令和3年度 教科等の具体的取組

<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字・文法の力を身に付けるために小テストを繰り返し実施し、知識を確実なものにする。 ○ 文章を正確に読む力をつけたいので文章構成に着目させて考えさせる教材に取り組みさせる。 ○ 学んだ単元を社会生活に生かすことができるように活用の学習に取り組みさせる。 	<p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚教材などを使用し、社会的事象や学習内容の興味関心を高める。 ○ ワークの反復練習やテストの実施などを行い、知識を定着させる。 ○ 記述問題やグループワークを通し、資料を根拠に自分の考えを伝える力を養う。
<p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎問題の反復練習や単元テストなどで知識・技能の定着を図る。 ○ 教材・教具を工夫し、数学に対して興味をもって取り組むことができるようにする。 ○ 会話文など文章問題に対して繰り返し取り組み、数学的な考え方を養う。 	<p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材・教具を工夫し、理科に対する興味関心を高める。 ○ 実験を通して、自分の考えを表現したり発表したりする力を養う。 ○ 練習や小テストなどで知識・技能の定着を図る。
<p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 ○ 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ○ 教材を工夫し、音楽に対する興味関心を高める。 	<p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 横浜版学習指導要領ベースカリキュラムに基づいた小中9年間を見通した題材配列を考える。 ○ 生徒一人ひとりが意欲的に表現主題を追究できる魅力的な題材の提供を図る。 ○ 幅広い鑑賞活動を通して、造形的な視点を豊かにもち、美術文化などと豊かに関わる資質、能力を育てる授業を考える。
<p>技術・家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立と、生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ○ 持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする。 	<p>外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リスニングや話す練習の繰り返しにより、言語に関する知識の定着と表現力の向上を図り、重要語彙や基本文等を書く練習をさせる ○ AET と会話する活動や生徒相互のペア活動など、コミュニケーション力を高める場面を計画的に設定する。
<p>保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の基礎的、基本的な知識・技能の習得。仲間と協力し、助け合い、励まし合いながら学ぶ力を高める。 ○ 健康・安全に気をつけて運動を実践できるようにする。 	<p>個別支援学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の指導計画に基づき、授業形態や学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図る。

セクシャル・ハラスメント窓口

横浜市では、セクハラ防止、被害の相談窓口を設けていますが、学校でも窓口を設けています。被害にあったり、嫌な思いをしたりしたときは、一人で悩まずに、是非相談してください。生徒、保護者ともに相談できます。

【相談窓口となる職員】 養護教諭 大河内 美幸
生徒指導専任教諭 松本 庸之

スクールカウンセラー、身近な担任や部活動顧問などに相談されても結構です。また、教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。電話番号：671-3726 月～金 9:00～17:00（年末年始を除く平日）

若中寺子屋のお知らせ



昨年度より、放課後学習会を「若中寺子屋」という新しい形態にし、部活動休養日に実施しています。これまでの放課後学習会は、教師主導の補習的な形態でしたが、「若中寺子屋」では、生徒同士が教え合いながら学びを深めていくことを狙いとしています。地域コーディネーターさんを中心として運営され、横浜市の教育実践ボランティアの大学生に学習サポートに入ってもらっています。また、教員も寺子屋の場を活用してもらい、サポートに入ることもあります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、多くの生徒の皆さんに若中寺子屋を利用していただけるように実施していきます。

/ 6・7月の主な予定 /

6月

- 1日 (火) 眼科検診
- 4日 (金) 生徒総会
- 7日 (月) 生徒会委員会① 若中寺子屋
- 8日 (火) 朝会 1年食育講座 生徒会委員会②
- 10日 (木) 中央委員会
- 14日 (月) 若中寺子屋
- 15日 (火) ～17日 (木) 第1回定期テスト
- 18日 (金) 地域交流授業 第1回進路説明会

7月

- 2日 (金) 生徒会委員会①
- 5日 (月) 生徒会委員会②
- 6日 (火) 朝会
- 7日 (水) 中央委員会
- 8日 (木) 生徒会新入生歓迎レク
- 13日 (火) ～16日 (金) 個人面談
- 19日 (月) 大掃除
- 20日 (火) 1学期終業式
- 21日 (水) ～ 夏季休業 8月26日 (木) まで
- 26日 (月) ～28日 (水) 夏季学習会

校外学習の日程を変更しました。

- 1年生 校外学習 → 10月15日(金)
- 2年生 自然教室 → 10月27日(水)～29日(金)
- 3年生 修学旅行 → 9月26日(日)～28日(水)



お知らせ

5月29日(土)に予定しておりました「令和3年度 若葉台地区青少年健全育成委員会」は情勢を鑑みて**中止**とさせていただきます。委員の皆様には、後日、書面によってご報告いたします。